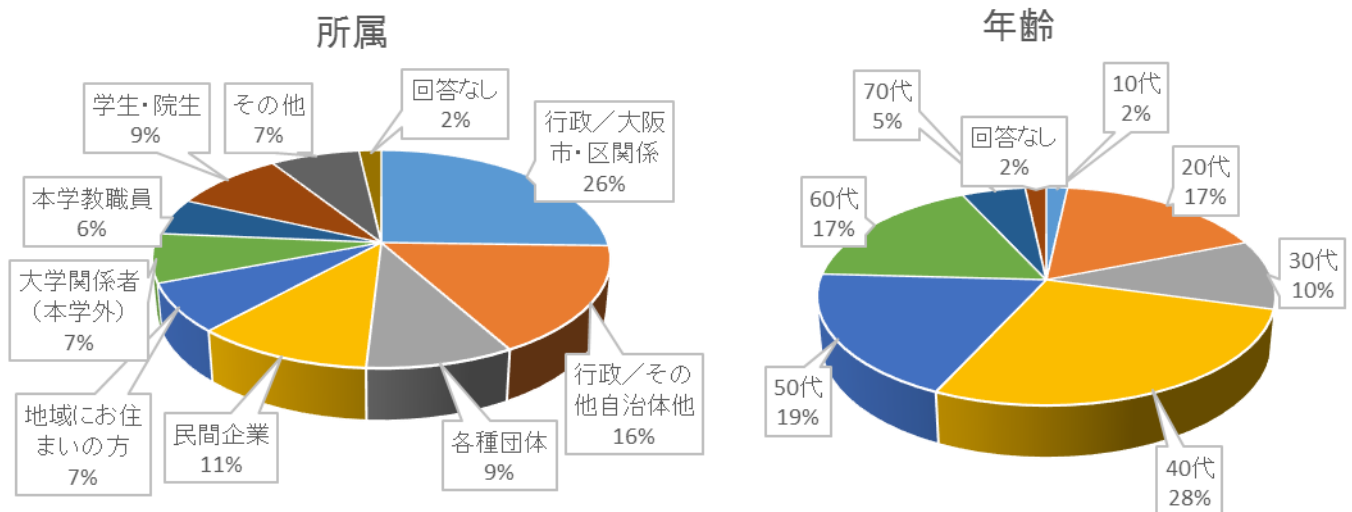


「第二回地域連携発表会～地域と大学のさらなる連携を目指して～」開催報告

平成 27 年 3 月 4 日（水）地域連携センター主催で、「第二回地域連携発表会～地域と大学のさらなる連携を目指して～」を開催しました。本学の教員や学生が地域と連携して行った取り組みを広く学内外に紹介し、地域と大学が連携していくためのノウハウを共有することを目指して、実施したものです。当日は天候にも恵まれて、行政関係者、各種団体、企業・地域の方など、本学教職員・学生らの参加を含め、定員を上回る約 130 名の来場がありました。



第一部では、まちづくり、文化・歴史、商業活性化、防災まちづくり、防災学習の 5 つのテーマについて担当教員等による発表が行われました。

| テーマ | 口頭発表者 | 所属 | 発表テーマ・タイトル |
|---------------|-------------|-----------------|--|
| 1. まちづくり | 西野 雄一郎 (D2) | 工学研究科 都市系建築学 | リノベ@大正区 |
| 2 文化・歴史 | 嘉名 光市 准教授 | 工学研究科 都市系都市学 | 生きた建築ミュージアム |
| 3. 商業活性化 | 小長谷 一之 教授 | 創造都市研究科 都市政策 | 商店街・各機関との包括提携による北区活性化のプロジェクトについて |
| 4 防災 まちづくり | 福島 祥行 教授 | 文学研究科 言語文化 | 演劇活動による地域共同体の創発 —スミヨシ・アクト・カンパニーの事例から— |
| 5 防災学習 | 三田村 宗樹 教授 | 理学研究科 生物地球系 | 小学校における地震災害リスクの学習に向けた取り組み |

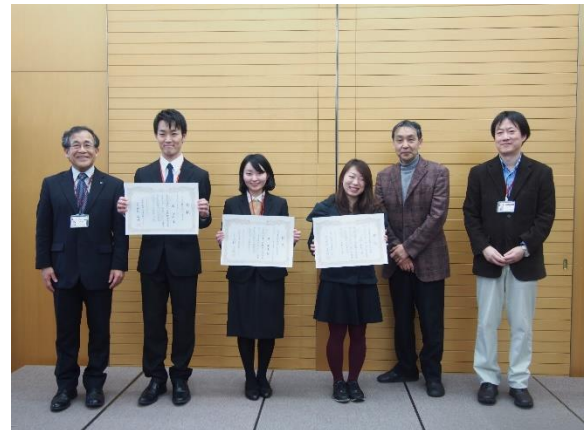
参加者の声

- ・市大が地域連携に積極的に取り組んでおられることを知り、大阪市民の一人として頼もしく思いました。
- ・その後の継続や展開の仕方がやはり課題になってくるのかなと感じました。自分でも今日の内容を振り返るなどして理解を深めたいと思います。



第二部では、座談会をおこない、各講師を囲んで、熱心に事例について質問される方や、地域のことを熱心に語る参加者の方たちで最後まで会場が熱気に包まれていました。当日は、学生ポスターの発表も行われ、優秀なポスター発表を行った学生に対して表彰式も行われました。地域連携発表会所長賞は、西将希さん、副所長賞には、渡中実里さんと工藤朱里さんが選ばれました。

| ポスター発表者 | 所属 | 発表内容 |
|---------|----------------|--------------------------------|
| 渡中 実里 | 理学研究科 M1 | 市民参加型タンポポ調査と雑種タンポポの生態研究 |
| 西 将希 | 工学研究科 M1 | 泉大津市立旭小学校外構ワークショップ |
| 熊野 哲也 | 工学研究科 M1 | 大和川の自然再生に向けた研究とネットワークづくり |
| 中野 雄介 | 工学研究科 M1 | 大阪南港野鳥園の保全に向けた取り組み・研究 |
| 杉本 匡章 | 工学研究科 M1 | 阪南2区人工干潟を対象とした干潟再生に向けた様々な機関の研究 |
| 工藤 朱里 | 商学部 B2 | 若者の感性を活かした駒川商店街の活性化 |
| 大塚 成美 | Hijicho 法学部 B2 | レンゲですみ博 宝探しマップ |



自治体や地域住民、企業等が大学教職員や学生と交流する二回目の地域連携発表会でしたが、「今後行政として地域と協働をすすめる際、大いに参考になります」「連携に至る仕組みづくりが大切だと分かった」などの感想も頂き、ノウハウの共有にも貢献できた発表会になりました。